

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科	臨床工学技士科(昼間部)		科目区分	専門分野	授業の方法	演習
科目名	医用機器安全管理学演習		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対象学年	3年		学期及び曜時間	後期	教室名	
担当教員	東辻 保則	実務経験とその関連資格	臨床工学技士として24年病院に勤務し、直近は京都田辺中央病院医療安全管理室で専従として従事していた。			
《授業科目における学習内容》						
<p>医用機器の高度化にともない、工学系の知識をもとにした医療安全の必要性に迫られている。医用機器安全管理学の国家試験問題に関する各分野について、概要を理解し、国家試験合格に必要な実力を身に付ける。</p>						
《成績評価の方法と基準》						
<p>小テストを実施し、試験評価点とする。学習進捗の状況によっては、期末試験を実施する場合がある。試験を70%、出欠を20%、授業中の態度を10%で評価する。</p>						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
<p>教科書: 臨床工学講座医用機器安全管理学第2版(医歯薬出版株式会社) 参考図書: 臨床工学技士標準テキスト 第4版(金原出版)、MEの基礎知識と安全管理(南江堂) 授業参考となるプリントを随時配布する。</p>						
《授業外における学習方法》						
<p>臨床工学技士の国家試験や第2種ME技術実力検定試験で出題される当該分野について、過去問題を中心に繰り返し演習する。</p>						
《履修に当たっての留意点》						
<p>配布資料の過去問題の正解の内容のみならず、その意味を理解し整理すること。</p>						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	医用機器安全管理学(臨床工学技士と医療安全)の概要を理解する。	教科書 配布プリント		関連分野の国試演習問題を実施しておくこと
		各コマにおける授業予定	医用機器安全管理学(臨床工学技士と医療安全)に関する過去問題演習の実施と解説。			
第2回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	医用機器安全管理学(各種エネルギーの人体への危険性)の概要を理解する。	教科書 配布プリント		関連分野の国試演習問題を実施しておくこと
		各コマにおける授業予定	医用機器安全管理学(各種エネルギーの人体への危険性)に関する過去問題演習の実施と解説。			
第3回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	医用機器安全管理学(安全基準)の概要を理解する。	教科書 配布プリント		関連分野の国試演習問題を実施しておくこと
		各コマにおける授業予定	医用機器安全管理学(安全基準)に関する過去問題演習の実施と解説。			
第4回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	医用機器安全管理学(安全基準)の概要を理解する。	教科書 配布プリント		関連分野の国試演習問題を実施しておくこと
		各コマにおける授業予定	医用機器安全管理学(安全基準)に関する過去問題演習の実施と解説。			
第5回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	医用機器安全管理学(安全基準)の概要を理解する。	教科書 配布プリント		関連分野の国試演習問題を実施しておくこと
		各コマにおける授業予定	医用機器安全管理学(安全基準)に関する過去問題演習の実施と解説。			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	医用機器安全管理学(電气的安全性)の概要を理解する。	教科書 配布プリント	関連分野の国試演習問題を実施しておくこと
		各コマにおける授業予定	医用機器安全管理学(電气的安全性)に関する過去問題演習の実施と解説。		
第7回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	医用機器安全管理学(電气的安全性)の概要を理解する。	教科書 配布プリント	関連分野の国試演習問題を実施しておくこと
		各コマにおける授業予定	医用機器安全管理学(電气的安全性)に関する過去問題演習の実施と解説。		
第8回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	医用機器安全管理学(安全管理技術)の概要を理解する。	教科書 配布プリント	関連分野の国試演習問題を実施しておくこと
		各コマにおける授業予定	医用機器安全管理学(安全管理技術)に関する過去問題演習の実施と解説。		
第9回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	医用機器安全管理学(医療ガス)の概要を理解する。	教科書 配布プリント	関連分野の国試演習問題を実施しておくこと
		各コマにおける授業予定	医用機器安全管理学(医療ガス)に関する過去問題演習の実施と解説。		
第10回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	医用機器安全管理学(医療ガス)の概要を理解する。	教科書 配布プリント	関連分野の国試演習問題を実施しておくこと
		各コマにおける授業予定	医用機器安全管理学(医療ガス)に関する過去問題演習の実施と解説。		
第11回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	医用機器安全管理学(医療ガス)の概要を理解する。	教科書 配布プリント	関連分野の国試演習問題を実施しておくこと
		各コマにおける授業予定	医用機器安全管理学(医療ガス)に関する過去問題演習の実施と解説。		
第12回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	医用機器安全管理学(システム安全)の概要を理解する。	教科書 配布プリント	関連分野の国試演習問題を実施しておくこと
		各コマにおける授業予定	医用機器安全管理学(システム安全)に関する過去問題演習の実施と解説。		
第13回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	医用機器安全管理学(システム安全)の概要を理解する。	教科書 配布プリント	関連分野の国試演習問題を実施しておくこと
		各コマにおける授業予定	医用機器安全管理学(システム安全)に関する過去問題演習の実施と解説。		
第14回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	医用機器安全管理学(電磁環境)の概要を理解する。	教科書 配布プリント	これまでの講義内容に関し、ノートやプリントを見直し、国試演習問題を実施しておくこと
		各コマにおける授業予定	医用機器安全管理学(電磁環境)に関する過去問題演習の実施と解説。		
第15回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	医用機器安全管理学(総復習)の概要を理解する。	教科書 配布プリント	これまでの講義内容に関し、ノートやプリントを見直し、国試演習問題を実施しておくこと
		各コマにおける授業予定	医用機器安全管理学(総復習)に関する過去問題演習の実施と解説。		